

平成 29 年度 中日本支部 地方審査員審査技術研修会・開催報告

期 日 6月17日(土) 午後0時45分～5時30分
会 場 静岡県浜松市西区雄踏町山崎 4396 -1
浜名湖ロイヤルホテル 2階・オリオンの間
参加者 全国審査員6名、地方審査員39名



講 義

開式行事 12:45～13:10

開会挨拶 中日本支部支部長 小笹 富貴子
段位認定事業部長 加藤 憲
日程説明 本部段位認定部会 水口 久雄



事前アンケート見解

講 義 13:00～13:50

「そば道の解説と地方認定審査員の責務について」
(一社)全麺協 段位認定事業部長 加藤 憲

事前アンケートへの見解 14:00～15:00

中日本支部副支部長・全国審査員 井 敏朗
審査に関する疑問や悩みについて行った「事前アンケート」に対して、支部内の五段位審査員が自主的に打合せを行って見解をまとめました。その内容を1問1答形式で発表し、質疑も行い参加者全員で共有しました。



模擬認定会

模擬認定会(二段位) 15:10～16:10

遠州浜松そば道場 会員
・赤堀吉史 ・山本 勝 ・内藤 務
3名に実演していただきました。

過去2回と同様に模擬審査を行いました。今回は事前アンケートの結果を踏まえて、二段位の「合格基準点を意識した審査」をテーマに研修しました。

審査員会議・発表・総括 16:20～17:25

4組に分かれて「審査員会議」を開きました。審査員長は全国審査員が務めて会議を進行しました。「木を見て森を見ず」とならないよう、工程ごとに二段位の力量イメージを話し合い、グループとしての合否判定を行いました。全体会では記録係から合否判定の結果と各力量イメージ、そして解決できなかった問題点・質問をグループ毎に発表いただきました。ここで出された質問に対しては、全国審査員がコメントを行うことで共通認識を醸成しました。また、統一見解の早期見直しを望む声が上がっていたことも併せて報告いたします。最後に加藤事業部長から総括いただき、研修プログラムを終了しました。



審査員会議

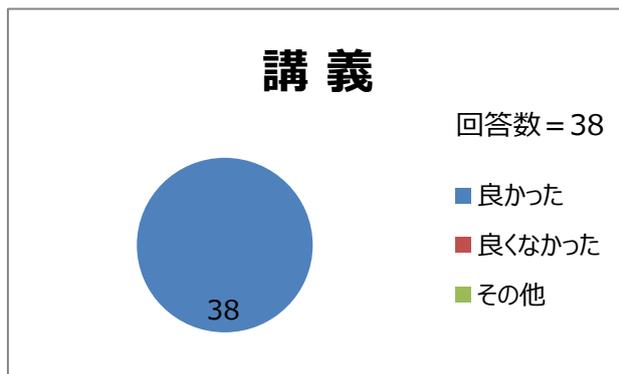
終了時に行われたアンケートでは、今回の研修会企画に対する高い評価と継続要望の声が数多く寄せられており、有意義な研修になったことを確認できました。

(報告:段位認定部 全国認定会専門チーム 水口)

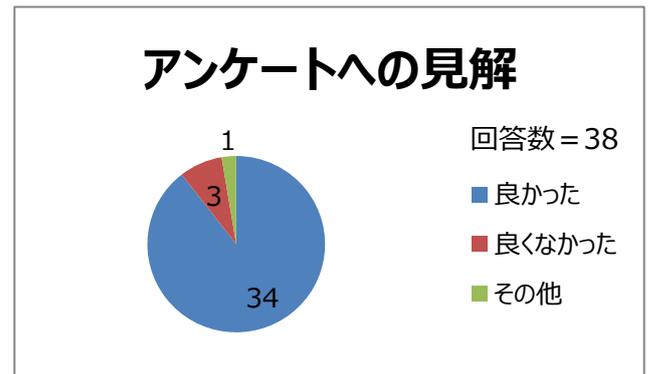
平成 29 年度 中日本支部・地方審査員技術研修会 アンケート結果

平成 29 年 6 月 19 日 段位認定部会

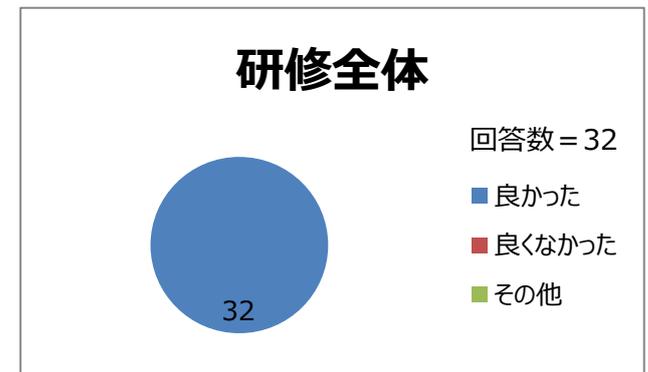
1. 今回の地方審査員技術研修会についてあなたの評価をお聞かせください。



・全麵協の課題についての講義も良かった

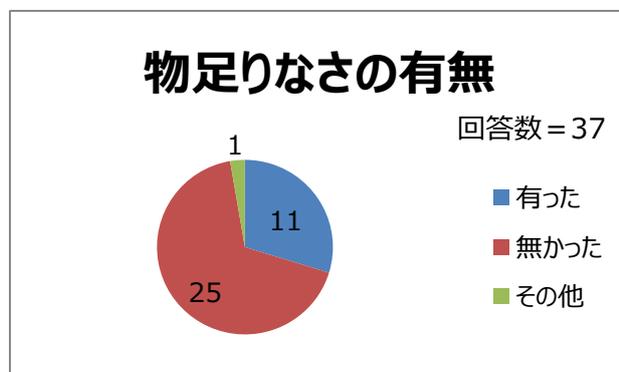


・もう少し突っ込んだ回答が欲しかった



2. 今回の研修を通して、より説明が欲しかったことや物足りなかつた事は有りましたか？

3. 今後の地方審査員技術研修会に関するあなたのご意見やアイデアをお聞かせください。

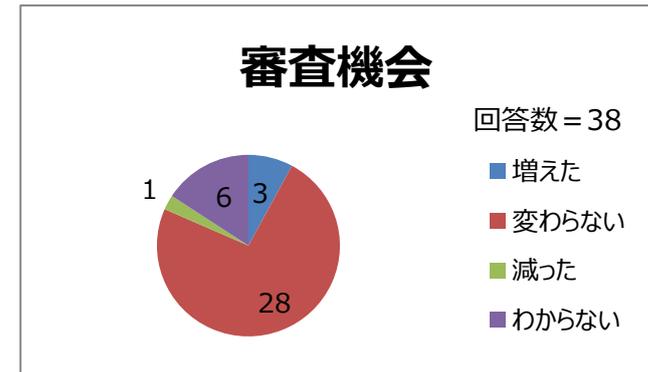


- ・今後もアンケート形式を継続して欲しい
- ・支部としての意思統一が出来て良かった
- ・簡単に合格させると信頼度が下がる
- ・財源確保為に合格させているのか？

・質疑応答の時間を増やして欲しい ・早く統一見解等の改訂をして欲しい

4. 地方審査員審査技術研修会の開催頻度に関するお考えをお教えてください。

5. 昨年からの審査機会に変化はありましたか？



・スキルアップの機会が多い方が良い
・交通費等の負担が大きい

・研修会で学んでも活かせる機会がないのが悔しい